報道提供資料

令和7年10月10日



貝塚市

総合政策部 魅力づくり推進課 広報シティプロモーション担 当:藤木・遠藤 TEL:072-433-7059 FAX:072-433-7233

かいづかSMILEプランについて ~すべての子どもたちの笑顔のために~

記

本市では、不登校児童生徒数が令和2年度から6年度までの5年で1.3倍に増加しており、学校内外の機関等で専門的な相談・指導を受けていない児童生徒数も3割います。

このプランは、本市の教育において最も大切にしている「誰一人取り残さない」ということで立ち上げたものです。

これまで取り組んできた支援に、下記プロジェクトを加え、多様な選択肢の中から一人ひとりの状況や気持ちに寄り添いながら、社会の中で自立して生きていける力を育むことができるようにしていきたいと考えています。

具体的には、大きく4つのプロジェクトから構成されています。

- ①専門家を活用したアウトリーチ支援の導入 公認心理士の資格をもつ元貝塚市教員が家庭訪問を中心に面談対応しアセスメントを 行います。学校へその情報をフィードバックし、それぞれの状況に応じた支援方法を 検討していきます。→1学期22件の家庭訪問
- ②メタバースによるオンライン学習支援の導入
 - →9月17日(水)~空間開放 (自学自習や一斉授業の教室を設置) 19人登録(小:9人、中:10人)※10月7日時点
- ③教育支援センター (レインボー教室) における支援の充実
 - →株式会社 MALU の縣農園 (元貝塚市教員が経営) を借りて栽培体験 ※1 喫茶トランク (フリースクールを兼ねている) の協力による仕事体験 ※1 株式会社フィッシングマックスの協力による釣り体験 ハーモニーファーム野のはなの協力によるホースセラピー (ブラッシングや曳き馬) 体験
- ④遠隔操作ロボット(「OriHime」…病院や介護の現場で広く活用)の導入 →小学校にて活用(ほっとルーム※2と教室をつないで活用)
- ※1…市の共創チャレンジを受託している事業者
- ※2…校内教育支援ルーム→不登校傾向や教室での学習が難しい児童生徒が居場所として活用する 教室。学習支援や心理的なサポート、教室復帰に向けてのサポートなどを 行う。
- ①②③④いずれも取材可能です。取材等よろしくお願いします。

問合せ先 学校教育課

匝 072-433-7113

担当:鳥居 清一郎